

⑧ イノシシ防除のための適正な電気柵の設置・管理にご協力ください

電気柵は、通電時のショックで「これに触れると危険だ」と認識させることで侵入を防ぐもので、負傷させることが目的ではありません。また、正しい設置と運用を行わないと設置した電気柵が役に立たず、周りに設置している電気柵へも悪影響を与えてしまいます。

電気柵の設置場所

- ・電気柵の外側に幅 50cm の作業路を作る。
- ・作業路の外側 1m は草刈りを行って、イノシシが姿を潜める場所をなくす。
- ・電気柵のすぐ外側がコンクリートやアスファルトにならないようにする。(電気を通しにくくなり、流れる電力が下がってしまうため)
⇒地形上コンクリート等に隣接せざるを得ない場合は、その部分にトタンや電気柵対応型の防草シート等の電気を通すものを敷き、電気が流れるようにする。

電気柵の設置について

- ・地表面と一段目、電線同士の隙間は 20cm 以下にする。
※斜面やくぼみがある場合には整地したり、支柱を増やすなどして電線の適切な高さを維持する。
- ・高さに不安がある場合には、電気柵の間隔を変えずに、同じように 20cm 以下の間隔で三段目を設置する。
- ・碍子(ガイシ)は支柱の外側に来るように設置する。

電気柵の管理について

- ・24時間通電し続け、どの時間帯で電気柵に触れても必ず感電するようにする。
※夜間のみの通電は、昼間に電気柵に触れたイノシシが「電気柵に危険はない」と誤った認識をしてしまう可能性がある。
- ・設置は1日で完了させ、その日のうちに通電できるようにする。
- ・通電していない状態で電線を放置しない。
- ・冬季でも通電をし続ける、または冬季は柵を撤去する。
- ・電気柵が雑草に触れることで漏電しないよう、刈払い機等による定期的な除草作業を行う。
- ・定期的に電圧をチェックする。
- ・支柱のぐらつきやアース・バッテリーコードの破損等がないかチェックする。

その他の対策

- ・金属繊維の編み込まれた電気柵対応の防草シートや、雑草が生えないように芝で覆うグラウンドカバープランツの導入
- ・除草して地面に支柱を刺す際に、段ボールの切れ端を地面に置いて貫通させることで、簡易防草シートの役目を果たし、支柱周辺で雑草が生えるのを抑えることが可能(経年劣化による交換は必要)。

問 農政課(内線 526)

令和3年3月31日で岩間支所内の常陽銀行派出所が廃止になります。市税等は安全で安心な口座振替や金融機関、コンビニ、スマートフォン(PayPay、LINE Pay)を利用した納付が便利です。